

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間関係論		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
石野 徳子	415	t.ishino	火・木曜日 16:00～17:30		
授業の目的・概要	看護職にとって、人間関係を構築することが前提となる。本科目では、自己理解を深めるとともに、多様な人間関係の在り方を知り、自己理解と他者理解につながる観察眼を養い、医療や福祉の現場を志す者として最低限身に付けるべき、人間理解の素養を養う。授業の概要として、自己理解をすることの意味、医療従事者として重要な対人関係や信頼関係を作る上で必要な基本的なコミュニケーションの技法などについて学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	医療人を目指す者として自己理解を深め、他者との対人関係のあり方の重要性について学ぶ姿勢が必要である。				
教科書	系統看護学講座 基礎分野 人間関係論/著:石川ひろこ/医学書院/2018 第3版				
参考書	人を育む人間関係論 援助専門職者として、個人として/服部祥子/医学勝因/2014 第1版8刷				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人生各期における発達段階について理解できる。	HSU (1)、(4)、(5)、NS (2)			
②	自分史を振り返り、自己理解を深めることができる。	HSU (1)、(4)、(5)、NS (2)			
③	他者理解をするために必要な基本的な知識を理解し、説明できる。	HSU (1)、(4)、(5)、NS (2)			
④	医療従事者として必要な基本的なコミュニケーションの知識を説明できる。	HSU (1)、(4)、(5)、NS (2)			
⑤	医療従事者として必要なコミュニケーション技法を身につけることができる。	HSU (1)、(4)、(5)、NS (2)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	ガイダンス、自己理解、エリクソンの発達段階について学習する。	講義	予習:教科書 p 4～12 を読み、まとめる。 自身の発達段階についてまとめる。	4	
2	自分と他者とのコミュニケーションについて学習する。	講義	課題 1:自分史について記述する。 予習:教科書 p82～91 を読み、まとめる。	4	
3	アサーティブコミュニケーションについて学習する。	講義・グループワーク	予習:教科書 p142～157 を読み、まとめる。 課題 2:アサーティブコミュニケーションの必要性について	4	
4	保健医療チームの人間関係について学習する。	講義	予習:教科書 p162～180 を読み、まとめる。 課題 3:医療チームの中で人間関係を良好に図るための自身の課題	4	
5	患者を支える人間関係について学習する。	講義・グループワーク	予習:教科書 p184～195 を読み、まとめる。 課題 4:患者との関わりを通し、注意点を記述する。	4	
6	家族を含めた人間関係について学習する。	講義	予習:教科書 p224～247 を読み、まとめる。 予習:家族の人間関係について関心のある事項について調べる。	4	
7	地域をつくる人間関係について学習する。	講義	予習:地域の人間関係について関心のある事項について調べる。	4	
8	まとめ (7回目までの講義を振り返り、ディスカッションを行う)	ディスカッション	課題 5:ディスカッションを通し学んだこと、気づいたことをまとめる。	2	
試	レポート提出 達成度評価、評価のポイント参照				

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	70	0	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	30	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	提示した課題に対する学生の理解度や自分の考えが述べられているのか、文字数、誤字、脱字、提出日時を守っているかなども評価を含む。また、学びを通し、新たな気づきやリアクションペーパーに、記述されているかなどについて総合的に評価する。			課題が提出された時点で、気になる点について指導する。必要に応じ、コメントを入れて返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワーク、ディカッション時、自分の意見を述べられているか、他者の意見に対する自分の考えや意見を述べているかなどを評価する。			発言されて意見を尊重するが、解釈が誤っている場合には、指導する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験	看護師・看護管理者として 30 年間の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	これまでに培った臨床経験を講義の場で活かすように、事例を取り入れることや病院や大学教育で経験したことなどを伝え、学生がよりリアリティを感じ理解を深められるように工夫をしながら講義を行う。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めません。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がある。 						